

私のふくい探訪

”福井“発
グローバル
リーダーとなれ

昨年11月、私の母校である県立藤島高校に招かれ、講演をさせて頂いた。生徒の皆さんの真剣な眼差しに、つい話に熱が入ってしまったことを思い出す。そのとき、私が強調して申し上げたことの一つが、世界に目を向けて是非グローバルリーダーを目指して欲しいということだ。

コマツは海外の売上比率が8割と圧倒的に多い。海外の現場でお客様と接する機会は多く、グローバルに活躍するプロジェクトリーダーが常に必要とされている。他企業と共通することもあると思うが、必要な条件は

次の3点だ。

まず、どんな相手にもイコーパートナーであるという意識。「お客様は神様」という考えがまだ日本では一般的だが、我々はむしろパートナーと捉える。例えば、南米チリで超大型ダンプトラックを多数保有する大手鉱山会社に行けば「コマツのおかげで生産が安定し、利益が上がっている」と感謝される。欧米でもアジアでも、必要以上に相手に遜つてもいい関係は築けな

コマツ 代表取締役会長
のじくにお

野路 國夫

1946年福井市生まれ。1969年大阪大学基礎工学部卒業後、コマツに入社。コマツドレッサーカンパニー(現コマツアメリカ)チャタヌガ工場長などを歴任し2007年代表取締役社長兼CEO、2013年より現職。福井県政策アドバイザーも務める。

い。文化の違う多様な国々のパートナーの話をよく聞き、対等の立場で話をするのが大事。そのためには専門知識を持つプロであると同時に、会話力も必須となる。

は自信を持って話ができるし、相手にとつて説得力がある。

三つ目に論理的思考をもつこと。物事を考えるときに様々なアプローチがあるが、論理的でなければ説得力がなく、対等に議論できない。解析したらこうだった、というだけでは不十分で、自分の論理を素人でもわかる形で説明できる能力を身に付けなければならぬ。

もう一つ付け加えると、「失敗を恐れない」ことも大切だ。コマツは敗者復活の機会が結構ある。現場での失敗、経験が成長のカギで、これがないとこの三つも育たない。

福井の若い人たちには、常にゼッケン”福井“を背負っているつもりで誇りを持ち、どんどん世界に羽ばたいて欲しい。

エネルギー とこと

原発の再稼働や廃炉を安全に進めていくためには、高いレベルの原子力技術・人材を維持・発展することが必要です。大学や研究機関が連携して、若者が原子力を学ぶ機会を確保することが大切です。

福井県経済団体連合会 会長 川田 建 男

福井県環境・エネルギー懇話会

〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

検索

次回掲載は

山本 良一氏 7月30日(木)掲載予定

※掲載日は前後する場合がございます。ご了承ください。